

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年2月1日(2007.2.1)

【公開番号】特開2005-169749(P2005-169749A)

【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2005-025

【出願番号】特願2003-411044(P2003-411044)

【国際特許分類】

B 4 1 J 13/00 (2006.01)

B 6 5 H 5/36 (2006.01)

B 6 5 H 29/20 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 13/00

B 6 5 H 5/36

B 6 5 H 29/20

B 4 1 J 3/04 101Z

【手続補正書】

【提出日】平成18年12月6日(2006.12.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体を記録案内部に供給して記録し、排出部から排出する記録装置であって、

前記記録案内部は、当該記録案内面から突出・引込可能な凸部と、当該凸部の突出・引込を切替可能な第1の切替手段とを備え、

前記排出部は、前記記録媒体の記録面に当接・離間可能な押え部と、当該押え部の当接・離間を切替可能な第2の切替手段とを備えたことを特徴とする記録装置。

【請求項2】

前記記録媒体の属性に応じて前記第1及び第2の切替手段を連動して切り替える連動手段を備えたことを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【請求項3】

前記第2の切替手段は、少なくとも2以上の押え部を備え、前記記録媒体の属性に応じて当該2以上の押え部を切り替えることを特徴とする請求項1または2に記載の記録装置。

【請求項4】

前記第2の切替手段は、円周方向に所定間隔を空けて配設した前記押え部と前記押え部が無い空白部とを備え、前記押え部と前記空白部を当該円周方向に回動させることにより前記押え部の当接・離間を切り替えることを特徴とする請求項1～3の何れか一項に記載の記録装置。

【請求項5】

被噴射媒体に液体を噴射する液体噴射装置であって、

請求項1～4の何れか一項に記載の排出部を備えたことを特徴とする液体噴射装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、前記記録媒体の属性に応じて前記第1及び第2の切替手段を連動して切り替える連動手段を備えたことを特徴としている。これにより、記録装置の制御部による自動切替に設定することも可能となるので、ユーザの切替ミスによる記録むらや記録媒体の汚染及び媒体記録面の傷付きを確実に防止することができる。また、前記第2の切替手段は、少なくとも2以上の押え部を備え、前記記録媒体の属性に応じて当該2以上の押え部を切り替えることを特徴としている。これにより、更に多くの属性の記録媒体に対応することができる。